



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '98 8月号

平成10年度夏期特別展

「相模国府とその世界」

8月30日まで



先月の18日からの特別展は、大変好調な滑り出しとなっています。このテーマがいかに関心が高いものであるか実感しています。是非とも多くの皆様に見ていただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

また、期間中には、特別展記念講演会、シンポジウムや「相模国府を歩く」見学会がありますので、大勢参加して下さいようお願い申し上げます。

相模国府について（その2）

大住国府はどこか

『和名抄』に記載された大住国府については、平塚八幡宮・四之宮説、伊勢原比々多・糟屋・東大竹説、秦野説と諸説入り乱れていましたが、昭和59年の平塚市四之宮下郷遺跡の調査成果とその後の調査から、9世紀代での平塚四之宮説は認められるようになりました。

初期国府海老名説と小田原説とは

大住国府以前の国府としての初期国府は、海老名説と小田原説の二つの考え方があります。

初期国府海老名説は『新編相模国風土記稿』に「国分寺の近傍にあるべし」を踏襲したもので、海老名国分寺の存在を根拠に展開してきました。国分寺は瓦の研究から国分寺建立の詔（741年）以後に創建され、780年頃には完成された説が有力になりました。しかし、国府が国分寺の近傍に置かれたとする説の弱点は考古学的な物的証拠が発見されていないことです。

一方、初期国府を小田原市の下曽我遺跡周辺とする見解もありますが、現在では足下郡衙とする考え方が有力です。また、足下郡衙（評家）は国府が完成するまでの仮の住まいとして利用されたとの考え方もありますが、その根拠となる考古学的な成果は見られません。

大住に移転した原因は、文献に記載された元慶二年（878）の大地震により、国衙（役所の施設）が大打撃を受けたことによるとの視点です。

大住国府は何処まで遡るか

『和名抄』の大住国府は四之宮説で終止符を打ったと考えますが、どこまで遡ることができるかです。この課題を紐解く資料として、平成元年・2年の稲荷前

A遺跡で墨書土器「国厨」が発見されました。「国厨」は国の台所機関である国厨家（食事の提供や食料・食器の調達・管理を主たる職務とする）を標記したものです。全国的な出土事例では、国府所在地や国府の出身機関からのものが多いのが特徴です。この遺跡では「国厨」が6点出土し、全国最多の出土点数となっていますので、この遺跡が相模国府の国厨家と判断することができます。

問題はこの墨書土器の年代観です。土器の編年から見ると8世紀第 四半期に相当します。この年代には大きな意味を持ちます。と言いますのは、従来の大住への移転への論点は元慶二年（878）ですので、約百年のギャップが生じ、つじつまが合わなくなります。つまり、従来の見解では理解することができないこととなります。文献に記載された国分寺火災・倒壊の資料を引用して、無理に大住への移転を想定したものと考えます。

『和名抄』の「大住国府」は生きている

「国厨」墨書だけではなく、稲荷前A遺跡第3地点から「𩺰」（くき）の墨書が出土しました。𩺰（一種の調味料で海藻と大豆で製造、また医薬品としても用いられた）は平城木簡でも確認され、文献にも相模国の特産物として中央に運ばれています。𩺰が製造された所は国厨家が郡厨家かわかりませんが、管理は国厨家が把握していたものと思います。「𩺰」墨書土器が出土した掘立柱建物跡の年代は8世紀中葉と考えています。この時期に四之宮に国厨家が存在していたことは、初期国府も当然四之宮にあったと考え、『和名抄』の大住国府はそのまま生きているものと考えます。

夏期特別展開連行事

特別展 記念講演会

日時：8月9日（日）午後1時から2時
場所：中央公民館小ホール
講師：山中敏史氏（奈良国立文化財研究所）
内容：「中央から見た相模国府」

シンポジウム「相模国府とその世界」

場所：中央公民館小ホール
日程：8月8日（土）・9日（日）の二日間
1日目：午後2時から午後5時
2日目：午前10時から4時
パネリスト：山中敏史（奈良国立文化財研究所）
荒井健治（府中市教育委員会） 荒井秀規（藤

沢市教育委員会） 河合英夫（榊玉川文化財研究所）
大上周三（神奈川県立埋蔵文化財センター） 田尾誠敏（東海大学）
明石 新（平塚市博物館）
参加方法：記念講演会とも自由参加（定員：250名、但し資料代実費）

相模国府を歩く

日時：8月22日（土）午前10時から午後2時
集合場所：バス停「遺跡公園前」（平塚駅バス停1番線から平88城島経由伊勢原駅南口行き、または平80～94で「中原御殿」下車、徒歩1分）
*参加自由です。

プラネタリウム夏番組

「流星雨の降る夜」 投影中

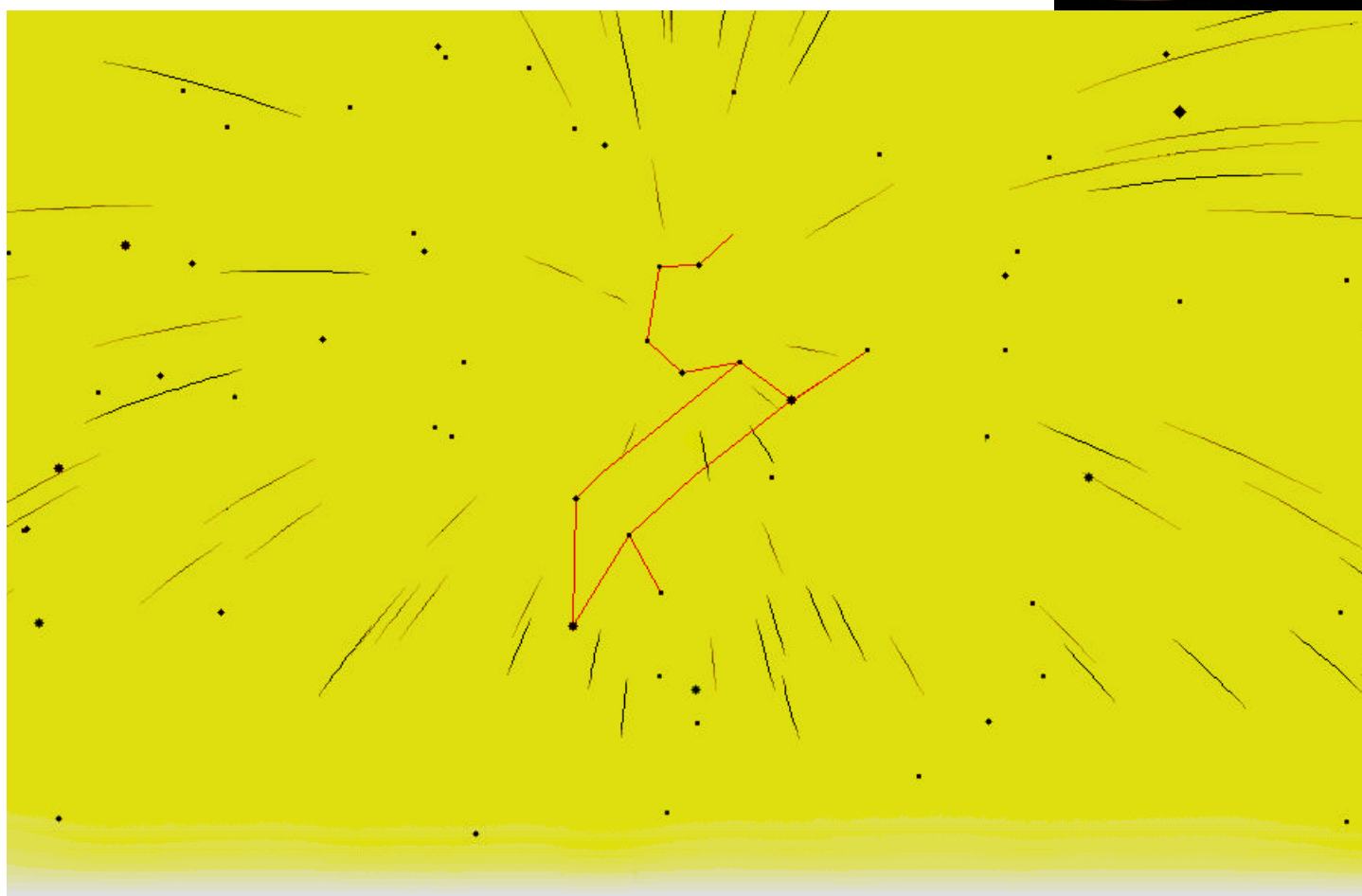
期間 7月18日～9月6日



流れ星がまるで雨のように降る現象が見られることがあります。それは流星雨と呼ばれ、それを体験した人は、まるで地球が流星の降る方へと向かって突き進んで行くようだった、と語っています。その流星雨をもたらすのはしし座流星群と呼ばれ、1799年にドイツの探検家フンボルトが南米で記録をし、この流星群が知られるようになりました。以来、33年ごとに活発に活動することが知られています。前回は1966年でしたが、アメリカで流星雨の出現に沸き返った時、多くの天文ファンに期待されながら日本では見られませんでした。きわめて短時間に限られた地域でしか見られない流星雨。その流星雨を見られるかもしれないチャンスがめぐってきました。1時間に10万個とも予想される流星雨、あなたも体験してみませんか。



夏假期間水・木・土・日曜 11時と2時の2回投影します
観覧券のお求めは1階受付で朝9時から発売します。



博物館カレンダー

8月の行事予定

1	土	○	自然観察ゼミナル「ほのぬけがら」 地質調査会 ◎ 寄贈品コーナー「嫁入り道具展」(~9月11日)	高麗山 特研室
2	日		民俗探訪会「学習会」	講堂
6	木	◎	星を見る会「夏の星空を見よう」	屋上
7	金		古文書講読会	講堂
8	土	◎	シホジウム「相模国府とその世界」	中央公
9	日	◎	シホジウム「相模国府とその世界」 ○ とも観察会 地質調査会	中央公 土屋 野外
11	火	○	体験学習「縄文土器を作ろう1」	科学室
12	水	○	体験学習「縄文土器を作ろう2」 天体観察会「流星群」(~13日)	科学室 函南
13	木	○	体験学習「縄文土器を作ろう3」 石仏を調べる会	科学室 特研室
14	金		古文書講読会	講堂
15	土	○	自然観察ゼミナル「ほのぬけがら」 平塚の空襲と戦災を記録する会 天体観察会	高麗山 特研室 館内
16	日	◎	ろばたばなし 古代遺跡を探す会	展示室 館内
19	水		地質調査会	特研室
21	金	◎	自由研究相談会 古文書講読会	科学室 講堂
22	土	◎	特別展記念「相模国府を歩く」 天体観察会	野外 館内
23	日		相模川の生い立ちを探る会	大山
25	火	○	体験学習「地形模型を作ろう1」	科学室
26	水	○	体験学習「縄文土器を作ろう4」	博物館
27	木	○	体験学習「地形模型を作ろう2」 石仏を調べる会 ◎ 星を見る会「夏の星空を見よう」	科学室 特研室 屋上
28	金	○	体験学習「地形模型を作ろう3」 古文書講読会	科学室 講堂

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

●ろばたばなし

期日：8月16日(日)
時間：10時30分と11時の2回 参加自由
場所：博物館1階展示室の民家内
内容：地獄におちたばあさま、くもと山伏など3話

●寄贈品コーナー

「むかしの嫁入り展」
・会期：8月1日(土)~9月11日(金)

9月の行事予定

4	金		古文書講読会	講堂
6	日		民俗探訪会 地質調査会	土屋 特研室
9	水		博物館実習 17日まで	館内
10	木		石仏を調べる会	片岡
11	金		古文書講読会	講堂
12	土	◎	漂着物を拾う会 地質調査会 プラネタリウム 注目!しし座流星群 11月8日まで	野外 野外
16	水		裏打ちの会 プラネタリウム 学習投影 3月末まで 地質調査会	科学室 特研室
18	金		寄贈品コーナー「実習生作」(~10月30日) 古文書講読会	講堂
19	土		平塚の空襲と戦災を記録する会	館内
20	日	◎	ろばたばなし 相模川の生い立ちを探る会	展示室 足柄峠
24	木		石仏を調べる会	特研室
25	金		古文書講読会	講堂
27	日		古代遺跡を探す会	館外

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

●自由研究相談会

期日：8月21日(金) 9時から12時まで
場所：博物館科学教室
内容：夏休みに取り組む自由研究の相談に各分野の担当学芸員が応じます。

●地形模型を作ろう

期日：8月25、26、28日 9時~午後4時
場所：博物館科学教室
費用：1700円程度
対象：小学4年生以上(3日間参加できる方)
〆切：8月10日までに往復ハガキで。

●星を見る会

夏の星空に親しもう
期日：8月6日(木)、27日(木)
時間：19時から20時30分まで
場所：博物館科学教室、屋上
内容：夏の星空を観察します。
参加自由。ただし雨天、曇天時は中止とします。

●漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた生き物や人工物を拾い調べます。
期日：9月12日(土) 午前9時30分~11時
集合：花水川橋平塚側もと 参加自由 *雨天中止

あなたと博物館

23巻 5号 通巻259号 発行 平塚市博物館 3000
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:31-3949